

新規事業採択時評価の結果

(空港整備事業)

平成12年12月22日

事業名	与那国空港滑走路延長事業						
所在地	沖縄県八重山郡与那国町			事業主体	沖縄県		
事業概要	与那国空港の滑走路を1,500mから2,000mに延長整備する。						
事業期間	平成13～17年度			総事業費	40億円		
目的・必要性	滑走路長の不足により生じている運航制限を解消するとともに、横風制限の緩和による就航率を改善するため。						
評価の基となる 需要予測	平成18年度の需要8.4万人(旅客)						
費用対効果分析	貨幣換算した主要な費用		建設費、再投資費				
	貨幣換算した主要な便益		時間短縮効果、費用低減効果、供給者便益				
	費用の生じる時期		平成13年度				
	効果の生じる時期		平成18年度				
	社会的割引率	4%		現在価値化の基準年度	平成12年度		
	総費用	42億円		総便益	61億円		
	B / C	1.5		B - C	19億円	E I R R	6.2%
	量的・定性的に 考慮した費用・効果		効果：安定運航の確保、地域開発効果				
地元等との調整状況 地域開発戦略との整合性等			調整済				
事業実施によるメリット ・デメリット			運航制限の解消による輸送力向上、就航率の改善、地域開発効果				
日程・手続			平成18年度供用開始(予定)				
関係者の意見等			地元自治体並びに航空会社から強い要望がある。				
備考							

新規事業採択時評価の結果

(空港整備事業)

平成12年12月22日

事業名	美保飛行場滑走路延長事業						
所在地	鳥取県境港市			事業主体	国		
事業概要	美保飛行場の滑走路を2,000mから2,500mに延長整備する。						
事業期間	平成13～19年度			総事業費	115億円		
目的・必要性	最大路線である東京便の需要は着実に伸びており、こうした需要に対応し、大型機の就航を可能とするため。						
評価の基となる 需要予測	平成20年度の需要69.5万人(旅客)(うち東京路線50万人)						
費用対効果 分析	貨幣換算した主要な費用		建設費、再投資費				
	貨幣換算した主要な便益		時間短縮効果、費用低減効果、供給者便益				
	費用の生じる時期		平成13年度				
	効果の生じる時期		平成20年度				
	社会的割引率	4%		現在価値化の基準年度	平成12年度		
	総費用	88億円		総便益	164億円		
	B / C	1.9		B - C	75億円	E I R R	6.3%
	定量的・定性的に 考慮した費用・効果						
地元等との調整状況 地域開発戦略との整合性 等	調整済						
事業実施によるメリット ・デメリット	大型機の就航による輸送力向上、就航機材の多様化						
日程・手続	平成20年度供用開始(予定)						
関係者の意見等	地元自治体並びに航空会社から強い要望がある。						
備考							